

石垣市子育て支援施設長寿命化計画

令和 3 年 3 月

石垣市 福祉部 こども未来局

子育て支援課

目 次

第 1 章 計画の概要	1
第 1 節 背景と目的	1
第 2 節 計画の位置づけ	1
第 3 節 計画期間	2
第 4 節 対象施設	2
第 2 章 子育て支援施設の目指すべき姿	3
第 1 節 子育て支援施設の目指すべき姿	3
第 3 章 子育て支援施設の状況等	4
第 1 節 施設の保有状況	4
第 2 節 施設の配置状況	5
第 3 節 施設の稼働状況	6
第 4 節 維持管理費用の推移	8
第 5 節 子育て支援施設の老朽化状況	9
第 4 章 子育て支援施設整備の基本的な方針等	13
第 1 節 子育て支援施設整備の基本的な方針	13
第 2 節 改修等の基本的な方針	14
第 5 章 子育て支援施設の整備水準等	15
第 1 節 改修等の整備水準	15
第 2 節 維持管理の項目・手法等	15
第 6 章 長寿命化の実施計画	16
第 1 節 改修等の優先順位付け	16
第 2 節 対策費用の試算	16
第 3 節 実施計画	18
第 7 章 長寿命化計画の運用	19
第 1 節 情報基盤の整備と活用	19
第 2 節 推進体制等の整備	19
第 3 節 計画のフォローアップ	19

第 1 章 計画の概要

第 1 節 背景と目的

2013（平成 25）年 11 月に、国のインフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議において「インフラ長寿命化基本計画」が策定され、国から公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するため、公共施設等総合管理計画の策定が要請されました。これを受け、本市では、2017（平成 29）年 3 月に行動計画にあたる「石垣市公共施設等総合管理計画」（以下、総合管理計画とします）を策定し、公共施設の適正管理に向けた基本的な方針を定めました。また 2018（平成 30）年 3 月には、総合管理計画で示した基本方針に基づき、今後 10 年間にわたる公共施設の大規模改修、建替え、新設、取壊し、運営方針の変更等の行動内容を示した実施計画として、「石垣市公共施設アクションプラン」（以下、アクションプランとします）を策定しました。

総合管理計画ならびにアクションプランでは、本市全体の公共施設等に関する基本的な方針の策定を行い、今後の事業予定のとりまとめを行いました。国からは個別の施設毎の老朽化状況に対応した実行計画の策定も求められています。

本市の保育所、幼稚園、認定こども園（以下、子育て支援施設とします）の建物は、建築後 30 年以上経過している建物が半数を占めており、経年による建物自体の劣化や設備等の不具合も起きていることから、随時修繕による対応を行っています。

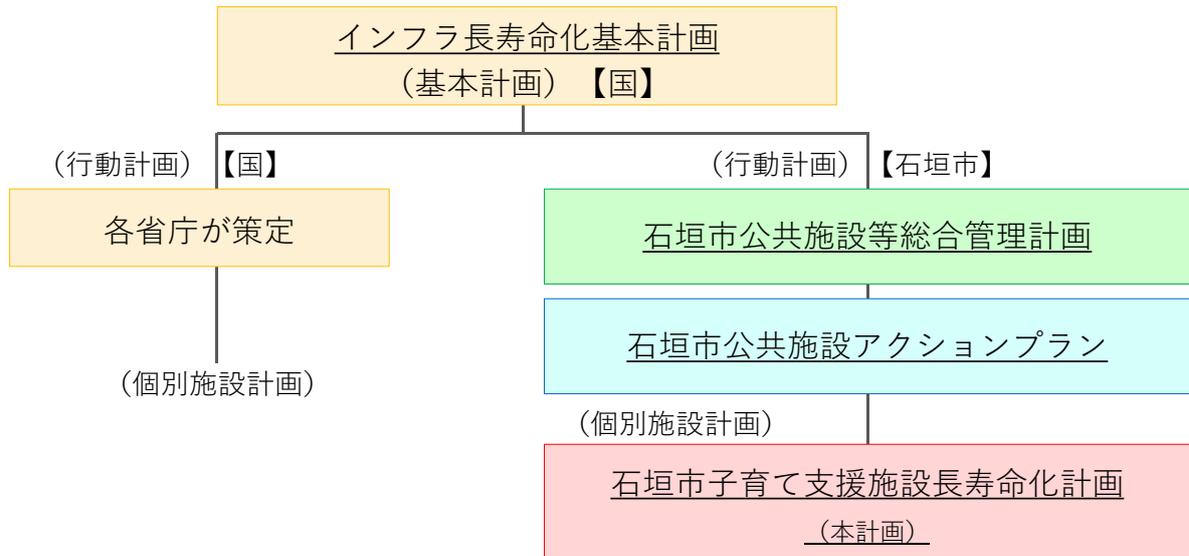
今後、限られた予算の範囲内でこれらの子育て支援施設の建物の安全性を確保し、機能性を維持していくためには、子育て支援施設の建替えや大規模な改修に要する費用の適正化ならびに平準化を検討していく必要があります。

以上の背景を踏まえ、子育て支援施設の質的維持を図るとともに、財政支出の平準化を図ることを目的として、「石垣市子育て支援施設長寿命化計画」（以下、本計画とします）を策定しました。

第 2 節 計画の位置づけ

本計画は、総合管理計画ならびにアクションプランを上位計画とし、インフラ長寿命化基本計画において、個別施設毎の具体的な対応方針を定める計画として示されている「個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）」として位置づけます。

図 1-1. 本計画の位置づけのイメージ



第 3 節 計画期間

本計画の計画期間は 2021（令和 3）年度から 2030（令和 12）年度までの 10 年間とします。この期間は総合管理計画の第 1 期後半 5 年間と第 2 期の前半 5 年間にあたるため、本計画内においても、計画期間を 5 年ごとに前期と後期に分け、総合管理計画の見直し時期と重なる 5 年目に見直しを行います。なお、社会情勢の変化や事業の進捗状況等に応じて、計画期間中においても見直しを行うものとします。

第 4 節 対象施設

本計画で対象とする子育て支援施設は、2020（令和 2）年度末時点で本市が所有する保育所、幼稚園及び認定こども園の建物（附属設備を含む）とします。対象施設の内訳を表 1-1 に示しています。

表 1-1. 対象施設の一覧

区分	施設数	建物棟数	延床面積合計 (㎡)
幼稚園	12	15	3,011
認定こども園	4	8	2,285
保育所	2	2	1,068
合計	18	25	6,364

第2章 子育て支援施設の目指すべき姿

第1節 子育て支援施設の目指すべき姿

第4次石垣市総合計画後期基本計画で基本方針として掲げている「誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」「子や孫が安心して生活できる環境づくり」「地域社会全体で子育てできる環境づくり」という環境の実現に向け、子育て支援施設の環境整備については、施設の安全性の確保はもちろんのこと、多様化する教育・保育ニーズへの対応や地域との相互連携が必要とされています。

以上の観点から、子育て支援施設の目指すべき姿として以下の3点を設定しました。

1. 安心・安全な施設

- ・施設の安心・安全を確保するため、施設及び設備の老朽化対策、耐震対策、防犯対策等を計画的に実施します。

2. 子育てニーズにあった子育て支援施設

- ・多様化する教育・保育形態や利用者ニーズに対応した施設の整備を実施します。

3. 人と環境にやさしい子育て支援施設

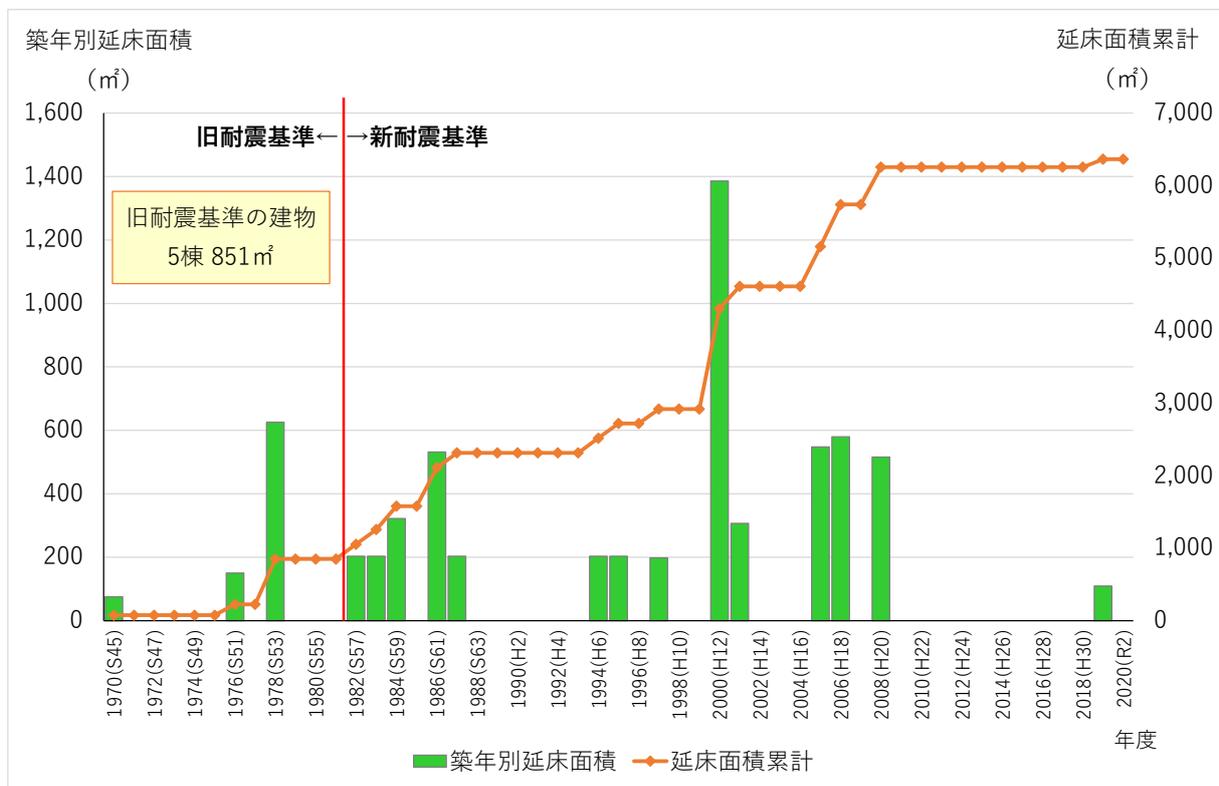
- ・子育て支援施設は園児が一日の大半を過ごす場所であることから、施設の生活環境を向上させる施設整備を実施します。
- ・障がいの有無を問わず安全に施設の利用ができるよう、ユニバーサルデザインを取り入れるなどのバリアフリー化を検討します。

第3章 子育て支援施設の状況等

第1節 施設の保有状況

本市が所有する子育て支援施設は18園で計25棟あり、その延床面積の合計は6,364㎡となっています。築年別の整備状況を見ると、1970年代から整備が開始されており、1970年代後半から1980年代にかけてと2000年代にやや集中して建設されています。旧耐震基準の建物（1981（昭和56）年6月以前に建設された建物）も5棟（総延床面積851㎡）が残っています。

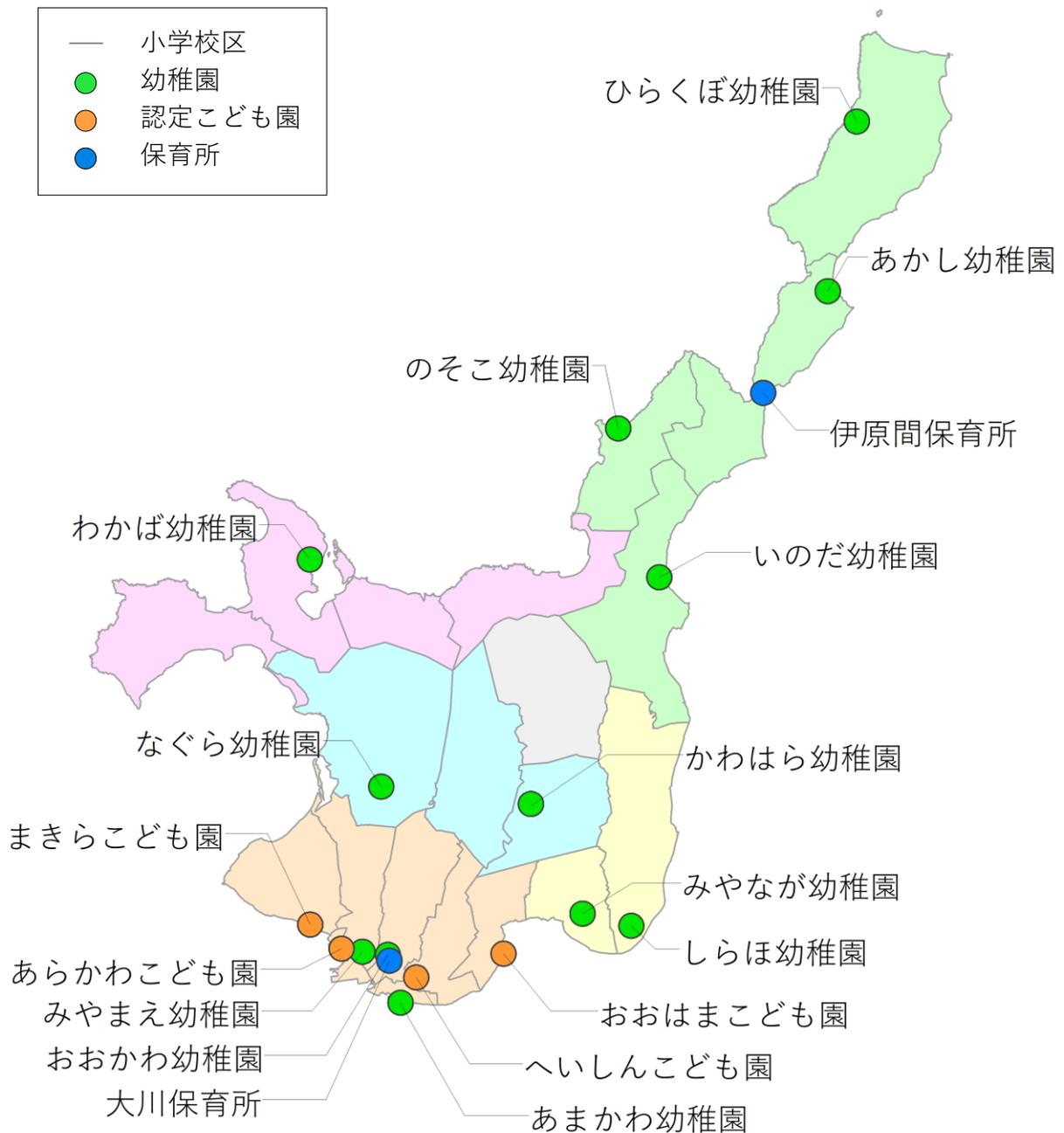
図3-1. 子育て支援施設の築年別整備状況



第2節 施設の配置状況

本計画の対象施設の位置を図3-2に示しています。小学校の校区を基に、東部、西部、南部、北部、中部の5つの地区に区分しています。

図3-2. 子育て支援施設の配置状況



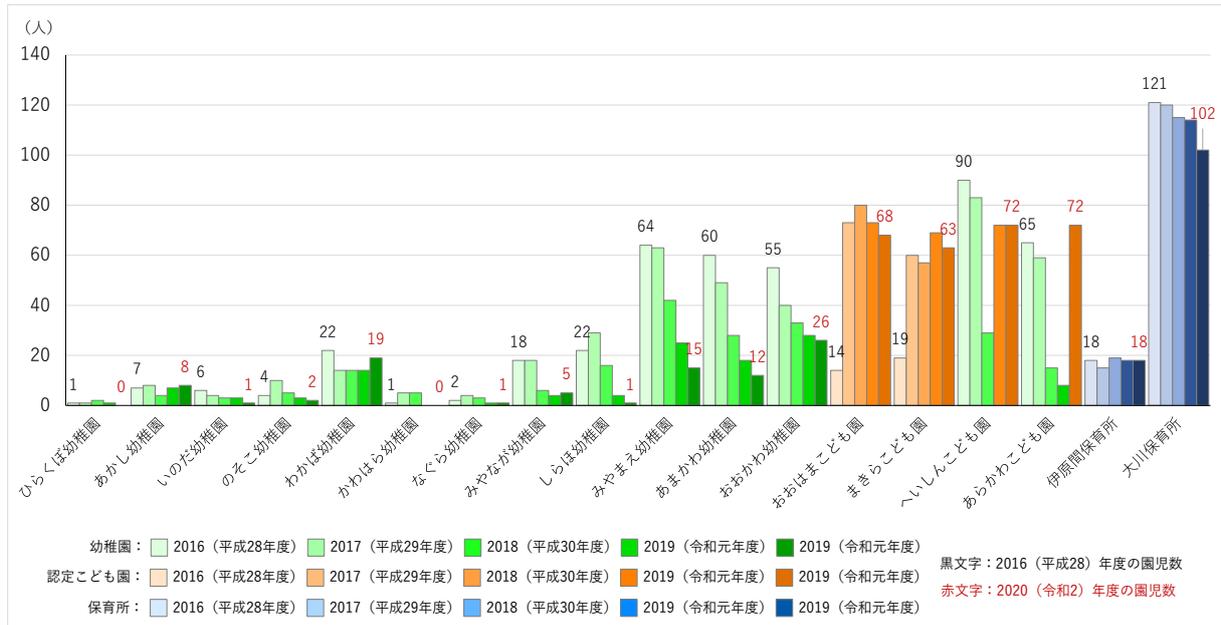
第3節 施設の稼働状況

2016（平成28）年度から2020（令和2）年度までの園児数の動態を表3-1ならびに図3-3に示しています。北部地区、中部地区、東部地区の3地区では、園児数はおおむね横ばいか減少傾向で推移しており、2020（令和2）年度に園児数が0名となっている園が複数見受けられます。西部地区は2019（令和元）年度まで横ばいでしたが、2020（令和2）年度に5名増加しています。南部地区は5地区の中で最も園児数が多くなっていますが、幼稚園、認定こども園、保育所のいずれでも園児数が減少している傾向が見られています。へいしんこども園は令和元年度から、あらかわこども園は令和2年度から認定こども園に移行しており、認定こども園へ移行する前の年度は、移行の準備等に伴い、園児数が少なくなっています。

表3-1. 園児数の推移（各年度5月1日時点）

区分	地区	施設名	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	備考
幼稚園	北部	ひらくぼ幼稚園	1	1	2	1	0	
		あかし幼稚園	7	8	4	7	8	
		いのだ幼稚園	6	4	3	3	1	
		のそこ幼稚園	4	10	5	3	2	
	西部	わかば幼稚園	22	14	14	14	19	
	中部	かわはら幼稚園	1	5	5	0	0	
		なぐら幼稚園	2	4	3	1	1	
	東部	みやなが幼稚園	18	18	6	4	5	
		しらは幼稚園	22	29	16	4	1	
	南部	みやまえ幼稚園	64	63	42	25	15	
		あまかわ幼稚園	60	49	28	18	12	
おおかわ幼稚園		55	40	33	28	26		
認定 こども園	南部	おおはまこども園	14	73	80	73	68	2016年度こども園移行
		まきらこども園	19	60	57	69	63	2016年度こども園移行
		へいしんこども園	90	83	29	72	72	2019年度こども園移行
		あらかわこども園	65	59	15	8	72	2020年度こども園移行
保育所	北部	伊原間保育所	18	15	19	18	18	
	南部	大川保育所	121	120	115	114	102	

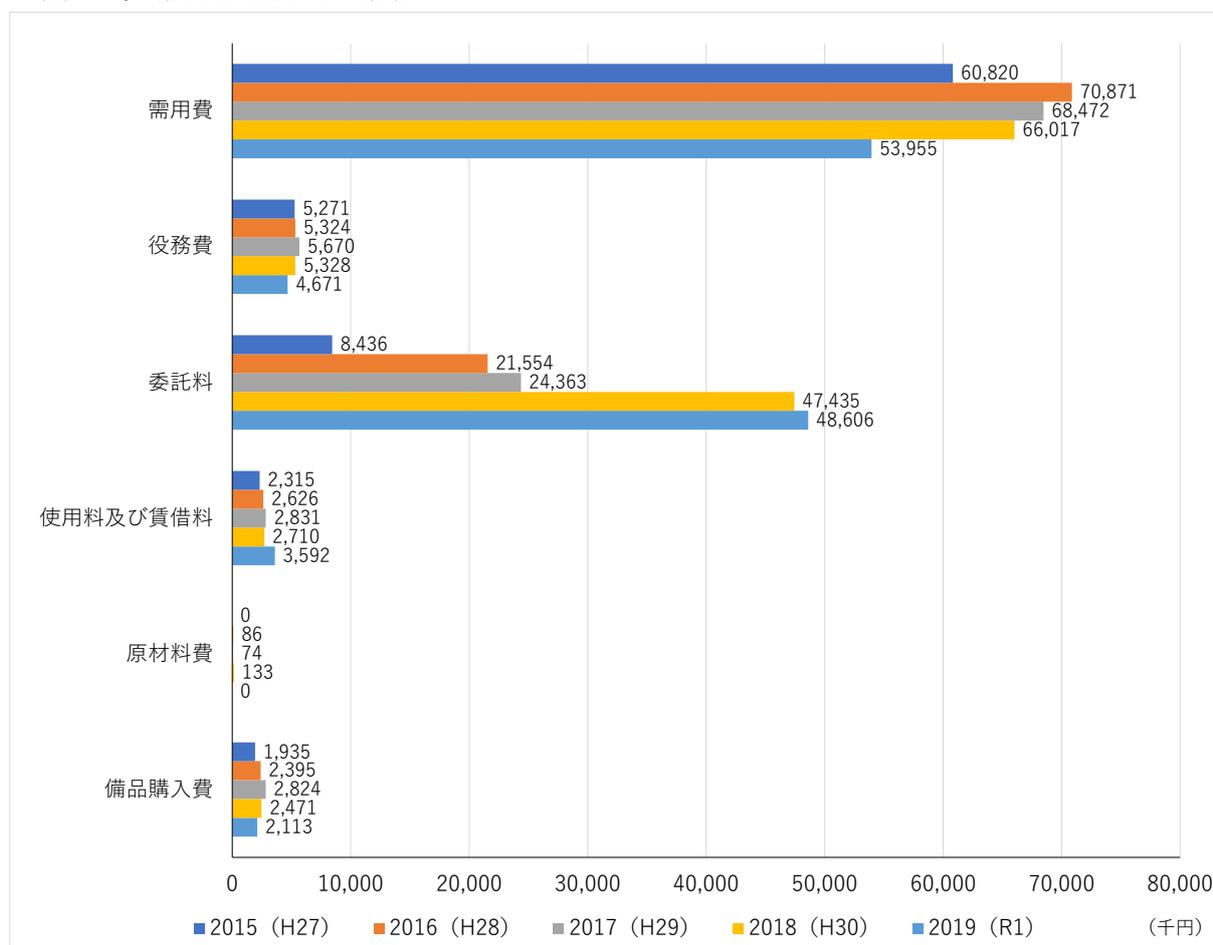
図 3-3. 園児数の推移（各年度 5 月 1 日時点）



第4節 維持管理費用の推移

子育て支援施設を運営していくうえで必要となる維持管理費用（人件費を除く）について、2015（平成27）年度から2019（令和元）年度までの過去5年間の推移を図3-4に示しています。水道光熱費や消耗品の購入費、施設の小規模な修繕費等を含む需用費が最も多く、年間約5,400万円から7,100万円かかっています。施設の点検や施設の設計等を専門業者に依頼する委託費が2018（平成30）年度から2019（令和元）年度にかけて大きく増加していますが、これは2020（令和2）年度にあらかわこども園及び（仮）かびらこども園の園舎を建設するにあたり、施設の設計等を委託した際の費用です。維持管理費用の合計は年間約8,000万円から1億2,600万円で、5年間の平均は約1億円となりました。

図3-4. 維持管理費用の推移



第 5 節 子育て支援施設の老朽化状況

(1) 構造躯体の健全性

本市が所有する子育て支援施設のうち、旧耐震基準で建設されている建物を表 3-2 に示しています。わかば幼稚園の園舎 2 棟については、今後認定こども園への移行が決定していることから、既存の園舎は廃止する予定としています。

その他 3 園の園舎については、順次耐力度調査を実施し、安全確保のために必要とされる対策工事を実施します。

表 3-2. 旧耐震基準の建物一覧

建物名	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数	健全度	備考
わかば幼稚園 園舎 1	75	1970(S45)	50	53	廃止 (こども園移行)
わかば幼稚園 園舎 2	89	1978(S53)	42	53	廃止 (こども園移行)
いのだ幼稚園 園舎	150	1976(S51)	44	40	
みやまえ幼稚園 園舎	397	1978(S53)	42	37	
ひらくぼ幼稚園 園舎	140	1978(S53)	42	40	

(2) 劣化状況調査 (現地調査)

構造躯体以外の劣化状況等の把握については、文部科学省より示されている「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書 (平成 29 年 3 月)」の調査方法を参考に、建物ごとに現地調査を実施しました。

具体的な調査の内容は、建物ごとに屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備の 5 つの部位を対象とし、劣化状況調査票 (表 3-3) を用いて実施しました。調査方法はいずれの部位についても目視によりひび割れや雨漏り、損傷の有無などの状況を調査し、劣化の状況に応じて A~D の 4 段階で評価を行いました。評価の結果は健全度として数値化を行っており、健全度が低いほど建物の劣化が進行していることを示しています。

評価基準及び健全度の計算方法を図 3-5 に示しています。

図 3-5. 劣化状況調査の評価基準

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

	評価	基準
良好	A	概ね良好
	B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
	C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化	D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

経過年数による評価
【内部仕上げ、電気設備、
機械設備】

	評価	基準
良好	A	20年未満
	B	20～40年
	C	40年以上
劣化	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

(右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例)

	評価		評価点		配分	
1 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	= 204
2 外壁	D	→	10	×	17.2	= 172
3 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	= 1,680
4 電気設備	A	→	100	×	8.0	= 800
5 機械設備	C	→	40	×	7.3	= 292
計 3,148						
÷ 60						
健全度 52						

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

表 3-3. 劣化状況調査票

通し番号			
学校名	学校番号	調査日	
建物名	記入者		
棟番号	建築年度	年度(年度)	
構造種別	延床面積	m ²	階数 地上 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトンを目視点検できない			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
0 / 100点

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書

各建物の劣化状況調査の結果を表 3-4 に示しています。築 40 年近くが経過している建物については、C 判定もしくは D 判定となっている部位が多く、健全度も低くなっています。あまかわ幼稚園ならびにおおはまこども園の屋根・屋上については、複数箇所で雨漏りが見受けられていることから、経過年数は比較的短いですが、あまかわ幼稚園で C 判定、おおはまこども園で D 判定となっています。

表 3-4. 劣化状況調査の結果

施設名	建物名	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	耐震 基準	経過 年数	屋根 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (点)
わかば幼稚園	園舎1	RC	75	1970	旧	50	B	B	C	C	C	53
わかば幼稚園	園舎2	RC	89	1978	旧	42	B	B	C	C	C	53
みやまえ幼稚園	園舎	RC	397	1978	旧	42	D	C	C	C	C	37
あまかわ幼稚園	園舎	RC	516	2008	新	12	C	B	C	A	A	65
かわはら幼稚園	園舎	RC	203	1987	新	33	B	C	C	B	C	47
みやなが幼稚園	園舎	RC	203	1994	新	26	C	C	C	B	B	48
しらほ幼稚園	園舎	RC	307	2001	新	19	B	B	B	A	A	81
いのだ幼稚園	園舎	RC	150	1976	旧	44	C	C	C	C	C	40
ひらくぼ幼稚園	園舎	RC	140	1978	旧	42	C	C	C	C	C	40
なぐら幼稚園	園舎	RC	203	1982	新	38	C	C	C	B	C	44
のそこ幼稚園	園舎1	RC	180	1995	新	25	B	A	B	B	B	82
のそこ幼稚園	園舎2	RC	23	1995	新	25	A	A	B	B	B	84
あかし幼稚園	園舎	RC	203	1983	新	37	C	B	B	B	B	72
おおかわ幼稚園	園舎1	RC	304	1984	新	36	C	B	B	B	B	72
おおかわ幼稚園	園舎2	RC	18	1984	新	36	B	B	B	B	B	75
おおはまこども園	園舎	RC	516	2000	新	20	D	B	C	B	A	59
まきらこども園	園舎1	RC	270	1986	新	34	B	C	B	B	B	59
まきらこども園	園舎2	RC	86	1986	新	34	B	C	B	B	B	64
まきらこども園	園舎3	RC	176	1986	新	34	B	C	C	B	B	46
へいしんこども園	園舎	RC	580	2006	新	14	B	A	A	B	A	94
あらかわこども園	園舎	RC	516	2005	新	15	B	B	A	B	B	84
あらかわこども園	園舎2	RC	32	2005	新	15	B	A	A	A	A	98
大川保育所	園舎	RC	870	2000	新	20	B	C	B	B	B	65
伊原間保育所	園舎	RC	198	1997	新	23	B	B	B	B	B	75

第4章 子育て支援施設整備の基本的な方針等

第1節 子育て支援施設整備の基本的な方針

第2章の目指すべき姿の実現に向けて、総合管理計画における基本方針を踏まえた子育て支援施設の整備に関する基本的な方針を示します。

(1) 公共施設等総合管理計画における基本方針（抜粋）

公共施設等総合管理計画 公共施設の管理に関する基本方針
<p>1. 住民一人当たりの延床面積を現在の水準に維持する</p> <p>本市が目指す人口の将来展望では、今後も総人口の増加を見込んでいます。人口の増加に伴い施設需要が増す可能性もありますが、現在の保有量をすべて更新するだけの充当可能財源の確保は難しい状況となっていますので、住民一人当たりの延床面積を現在の水準で維持できるよう、施設総量の規制を行います。</p> <p>2. 施設を建設する際にライフサイクルコストの低減を図る</p> <p>既存の建物の更新、新規の建物の建設を問わず、新しい建物を建設する必要性が生じた際には、初期の建設事業費だけでなく、維持管理に係るコストの低減も図れる設計を導入します。</p>

(2) 本計画における基本方針

老朽化が進行している建物については、引き続き安全上必要な箇所の補修を実施します。施設数については、現在の数を基本としますが、今後の園児数の推移や民間施設の設置状況等も考慮し、施設の在り方の検討や保有面積の最適化についても検討することとします。

第2節 改修等の基本的な方針

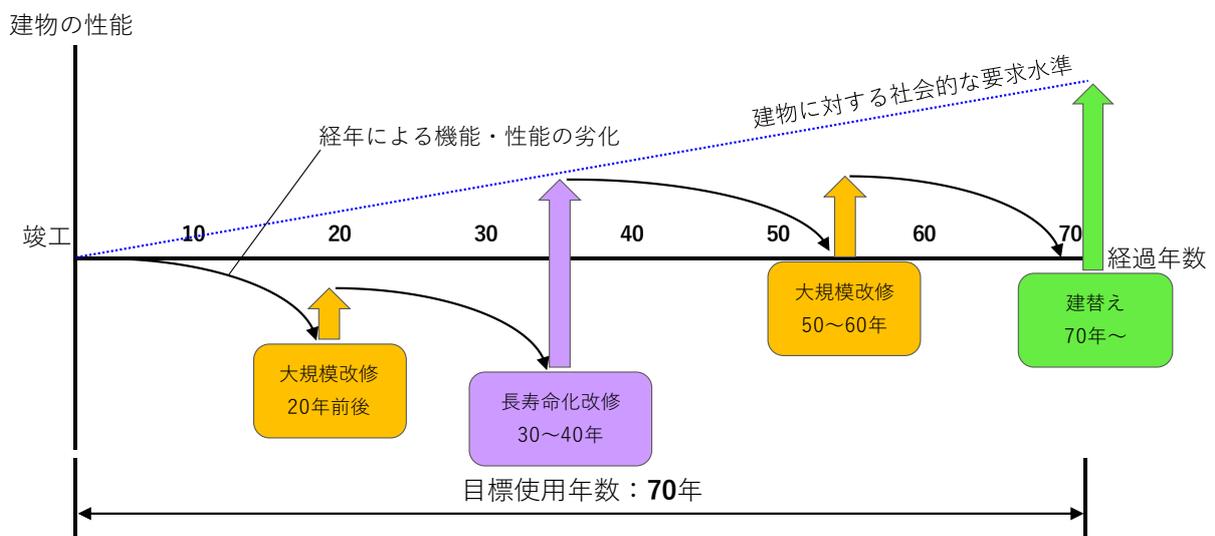
(1) 長寿命化の方針

本市ではこれまで概ね40年から50年という比較的短い周期で公共施設の建替え工事を実施してきました。これは、離島という本市の特徴から、様々な公共施設が潮風にさらされ、塩害の影響を受けていること等に起因しているものと考えられます。引き続き各建物の状態を定期的に点検し、今後実施する耐力度調査等の結果で長寿命化対策の実施が困難と判断される建物を除き、原則としてすべての建物について長寿命化対策に取り組みます。

(2) 目標使用年数

すでに老朽化が進行している施設については、長寿命化改修が難しい場合もありますが、長寿命化改修を実施する際の目標使用年数は70年とします。改修等の周期については、各建物の状態をみながら、下記のイメージ図のサイクルで実施することを基本とします。

図4-1. 長寿命化改修のイメージ



第5章 子育て支援施設の整備水準等

第1節 改修等の整備水準

子育て支援施設の目指すべき姿の実現に向け、各施設の日常的な運営の中で確認された不具合箇所、要修繕箇所等については、運営に支障を来たさぬよう、随時対応することとします。また、建物の機能面においては、教育・保育環境にかかる社会的な要求や法令上の要件等の変化、環境性能等も鑑みて、原状回復以上の改修工事も検討することとします。また、各子育て支援施設で保育環境に差が生じないように、可能な限り整備水準の統一を図ります。

第2節 維持管理の項目・手法等

予防保全を実施していくためには、故障や不具合の兆候を早期に発見して対処することが重要となります。そのため、教職員や施設管理者等による日常的な点検の実施の他、各種定期点検を適切に実施するなど、建物の状態を把握し、計画的な修繕を実施していく必要があります。

日常的な点検については、本計画の劣化状況調査で用いた調査項目を基礎として、点検を継続的に実施することとします。

第 6 章 長寿命化の実施計画

第 1 節 改修等の優先順位付け

対策の優先順位については、園児及び教職員が日常的に使用する施設という特性を踏まえ、安全性の確保及び衛生性を損なうおそれがある不具合への対応を最優先に実施します。また、劣化状況調査の結果 C 判定もしくは D 判定となっている部位については、D 判定の部位の修繕を 5 年以内、C 判定の部位の修繕を 10 年以内を実施することを原則とし、予算確保が可能な範囲で順次事業化に取り組みます。

第 2 節 対策費用の試算

本計画の計画期間内に実施することが見込まれる主な修繕は、屋根・屋上及び外壁の部位修繕となります。劣化状況調査で屋根・屋上ならびに外壁が C 判定もしくは D 判定となっている建物については、建築面積を基に屋上部分の面積及び外壁の面積を以下の方法で計算し、想定される事業費を基に部位ごとの修繕費を試算しました。

(1) 屋上部分の面積の計算方法

いずれの建物も 1 階建てであることから、延床面積を屋上部分の面積とみなしました。

(2) 外壁の面積の計算方法

各建物の形状を正方形と想定し、延床面積の平方根の値を 1 面の外壁の長さとし、その 4 倍を建物全体の外壁の長さとししました。建物の高さについては 3m と仮定し、外壁の長さに乗じることで外壁の面積を計算しました。

(3) 想定される修繕単価

屋上部分のひび割れ修繕及び防水塗装工事、ならびに、外壁部分のひび割れ修繕及び塗装工事それぞれについて、1 m²あたりの修繕単価の聞き取り調査を実施しました。今回の試算で採用したそれぞれの単価を表 6-1 に示しています。

表 6-1. 想定修繕単価

部位	単価
屋上防水修繕	4,000 円/m ²
外壁修繕	7,000 円/m ²

(4) 対策費用の試算

屋根・屋上ならびに外壁で C 判定もしくは・D 判定となっている建物について、想定修繕単価を基に、修繕費用の見込み額を試算しました。試算の結果を表 6-2 に示しています。

表 6-2. 建物ごとの対策費用の試算結果

施設名称	建物名称	延床面積 (m ²)	屋上修繕費 (千円)	外壁修繕費 (千円)
みやまえ幼稚園	園舎	397	1,600	1,700
あまかわ幼稚園	園舎	516	2,100	-
かわはら幼稚園	園舎	203	-	1,300
みやなが幼稚園	園舎	203	900	1,300
いのだ幼稚園	園舎	150	600	1,100
ひらくぼ幼稚園	園舎	140	600	1,100
なぐら幼稚園	園舎	203	900	1,300
あかし幼稚園	園舎	203	900	-
おおかわ幼稚園	園舎 1	304	1,300	-
おおはまこども園	園舎	516	2,100	-
まきらこども園	園舎 1	270	-	1,400
まきらこども園	園舎 2	86	-	900
まきらこども園	園舎 3	176	-	1,200
大川保育所	園舎	870	-	5,900
合計		4,237	11,000	17,200

第3節 実施計画

表 6-2 で示した各建物の部位修繕について、健全度の結果や経過年数等を基に実施時期を検討し、2021（令和 3）年度から 2025（令和 7）年度までの実施計画を作成しました（表 6-3）。下表に掲載されていない建物についても、今後の劣化状況調査の結果等を確認し、必要に応じて実施計画の更新を行います。

表 6-3. 実施計画

(千円)

施設名	建物名	延床面積 (㎡)	経過 年数	健全度 (点)	対策 内容	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)
なぐら幼稚園	園舎	203	38	44	外壁修繕	1,300				
					屋上修繕	900				
おおはまこども園	園舎	516	20	59	屋上修繕	2,100				
大川保育所	園舎	870	20	65	外壁修繕		5,900			
みやなが幼稚園	園舎	203	26	48	外壁修繕			1,300		
					屋上修繕			900		
おおかわ幼稚園	園舎	304	36	72	屋上修繕			1,300		
まきらこども園	園舎3	176	34	52	外壁修繕			1,200		
まきらこども園	園舎1	270	34	65	外壁修繕			1,400		
まきらこども園	園舎2	86	34	65	外壁修繕			900		
みやまえ幼稚園	園舎	397	42	37	外壁修繕				1,700	
					屋上修繕				1,600	
あまかわ幼稚園	園舎	516	12	65	屋上修繕				2,100	
かわはら幼稚園	園舎	203	33	47	外壁修繕					1,300
いのだ幼稚園	園舎	150	44	40	外壁修繕					1,100
					屋上修繕					600
ひらくぼ幼稚園	園舎	140	42	40	外壁修繕					1,100
					屋上修繕					600
あかし幼稚園	園舎	203	37	72	屋上修繕					900
合計：28,200千円						4,300	5,900	7,000	5,400	5,600

第7章 長寿命化計画の運用

第1節 情報基盤の整備と活用

子育て支援施設の更新や維持管理を効率的かつ効果的に実行していくためには、施設の管理にかかる情報を継続的に収集し、管理を行う必要があります。本計画の進捗管理も含め、今後は下記の運営情報の蓄積に取り組みます。

- (1) 建物ごとの修繕履歴
- (2) 子育て支援施設ごとの維持管理費用

第2節 推進体制等の整備

各建物の管理を所管する子育て支援課が中心となり、本計画ならびに子育て支援施設のマネジメントを推進することとします。各子育て支援施設の日常的な管理や運営については教職員等と協力し、施設に関する不具合箇所等の情報共有を積極的に行います。また、子育て支援施設の修繕工事に際しては、他の個別施設計画との調整や財源に関する調整が必要となりますので、財政担当課と協議をしながら計画の推進に取り組みます。

子育て支援施設の適正配置等の検討については、必要に応じて「公立幼稚園・保育所のあり方検討委員会」ならびに教育委員会の施設管理担当課等、各関係所管課と協議を行い、連携を図りながら推進していきます。

第3節 計画のフォローアップ

子育て支援施設の建物の老朽化状況や子育て支援に関するニーズ、社会環境等は、今後も年々変化していくことが想定されます。施設の老朽化対策や適切な子育て環境づくりを実施していくために、関連する各種計画との整合性を図りながら、適宜計画の見直しを行っていくこととします。

また、本計画の進捗状況や計画実行の中で発生する課題の解決等については、PDCAサイクルに基づく改善を図りながら、計画を推進していきます。

石垣市子育て支援施設長寿命化計画

令和 3 年 3 月

石垣市 福祉部 こども未来局 子育て支援課

〒907-8501 沖縄県石垣市美崎町 14 番地

TEL : 0980-82-1704 FAX : 0980-83-1247